

【書写】

# 書 写

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい 書写
17	教 出	小学 書写
38	光 村	書写

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	単元の目標の示し方と目標の数
		② 姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方	正しい姿勢、点画の書き方、用具の扱い方の写真・イラストの示し方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 課題解決的な学習を実施するための工夫	学習過程の示し方と構成等の特徴
(ウ)	内容の構成・配列・分量	④ 単元等の配列、分量	各学年の総ページ数、毛筆教材数、硬筆単元数、硬筆記入欄のページ数、二次元コード数
		⑤ 伝統と文化に関する内容の記述	書写の歴史や文字文化に関する資料等の内容とページ数、伝統的な言語文化に関する内容とページ数
(エ)	内容の表現・表記	⑥ 配色、レイアウト等表現・表記の工夫	筆順の示し方、紙面構成等
(オ)	言語活動の充実	⑦ 学習や日常生活に生かす言語活動の工夫	各教科等の学習や日常生活に生かす単元名及び教材名等の例、各学年の教材数

【書写】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	単元の目標の示し方と目標の数

第6学年「字配り・配列」		
	単元（ページ数）	目標の示し方（数）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 用紙に合った文字の大きさ（2）</li> <li>○ 分かりやすく伝える書き方（2）</li> <li>○ 配列（小筆）（2）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ (㉗～㉙を比べて)「適切な文字の大きさと書いているのはどれだろう」</li> <li>○ (分かりやすく伝える書き方にする前後の文を比べ)「どこをどのように変えているだろう。」</li> <li>○ (㉗～㉙の配列例を示し)「何をどのように直すと読みやすくなるか考えよう。」 (3)</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字の大きさと配列（2）</li> <li>○ 文字の大きさと配列、点画のつながり（3）</li> <li>○ 文字の大きさと配列、点画のつながり（小筆）（2）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「用紙に対する文字の大きさと配列に気をつけて書こう。」</li> <li>○ 「用紙に対する文字の大きさと配列、点画のつながりに気をつけて書こう。」</li> <li>○ 「用紙に対する文字の大きさと配列、点画のつながりに気をつけて書こう。」 (3)</li> </ul>
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字の配列                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・用紙に合った文字の大きさと配列（2）</li> <li>・伝えるって、どういうこと？（2）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「用紙に合った文字の大きさと配列を工夫して書こう。」</li> <li>○ 「伝えたい情報は何かを考えて、文字の大きさや配列を工夫しよう。」 (2)</li> </ul>

【書写】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②姿勢、点画の書き方、用具の扱いの示し方
方法	正しい姿勢、点画の書き方、用具の扱い方の写真・イラストの示し方

	学年	正しい姿勢 (ページ数)	点画の書き方 (ページ数)	用具の扱い方 (ページ数)
東書	1	○ 手の置き方、字を書く姿勢、手の置き方・足の置き方の写真とイラスト (7)	○ 線のなぞり・止め・はらい・はね・曲がり・折れ・むすび・反りのイラスト (22)	○ 鉛筆・フェルトペンの持ち方の写真とイラスト (6)
	3	○ 毛筆・鉛筆で机の上で書くときの姿勢・手の置き方・足の置き方、腕の使い方、ひじの位置、毛筆で立って書くとき・床の上で書くときの姿勢の写真 (5)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・曲がり・反り・はねの写真とイラスト (15)	○ 筆の持ち方・おろし方、用具の置き方と扱い方、墨のすり方、紙のしまい方、用具の後始末、鉛筆の持ち方、小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト (8)
教出	1	○ 字を書く姿勢・手の置き方・足の置き方、字を消すときの手の置き方の写真とイラスト (2)	○ 線のなぞり・止め・はらい・はね・曲がり・折れ・むすび・反りのイラスト (16)	○ 鉛筆・フェルトペン・水筆の持ち方、水書用紙の使い方の写真とイラスト (5)
	3	○ 毛筆で机の上で書くときの姿勢・手の置き方・足の置き方・ひじの位置、立って書くとき・床の上で書くとき・パソコンやタブレットを使うときの姿勢、バインダーで字を書くときの手の置き方の写真とイラスト (6)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・はね・曲がりの写真とイラスト (15)	○ 筆の持ち方・おろし方、用具の置き方と扱い方、墨液の扱い方、紙のしまい方、墨の含ませ方、墨の持ち方とすり方、用具の後始末、鉛筆の持ち方・小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト (6)
光村	1	○ 字を書く姿勢・手の置き方・足の置き方、タブレットを使う姿勢の写真とイラスト (2)	○ 線のなぞり・止め・はらい・はね・曲がり・折れ・折り返し・むすび・反りの写真とイラスト (15)	○ 鉛筆・フェルトペン・水筆の持ち方の写真とイラスト (5)
	3	○ 毛筆で机の上で書くときの姿勢・手の置き方・足の置き方・ひじの位置・腕の使い方、立って書くとき・床の上で書くとき・鉛筆で机の上で書くとき・タブレットを使うときの姿勢の写真とイラスト (6)	○ 筆圧・始筆・送筆・終筆・横画・縦画・点・折れ・はらい・はね・曲がり・反りの写真とイラスト (16)	○ 筆の持ち方・おろし方、用具の置き方と扱い方、紙のしまい方、墨の持ち方とすり方、用具の後始末、鉛筆の持ち方・小筆の持ち方・使い方の写真とイラスト (11)

【書写】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③課題解決的な学習を実施するための工夫
方法	学習過程の示し方と構成等の特徴

		第4学年	
		学習過程の示し方	構成等の特徴
東 書	○ 「見つけよう→たしかめよう→生かそう→ふり返ろう→生活に広げよう」	○ 「どのように学ぶか」を明確にした学習過程で、「書写のかぎ」（文字を整えて書くためのポイント）をキーワードに、課題解決的な学習展開になっている。それぞれの学習過程において「書写のかぎ」に関わる視点を示して、話し合ったり、生かしたり、広げたりする構成にしている。 ○ Web 上で動画視聴ができる二次元コードを記載しており、書く際のポイントや気を付けることを確かめて書くことができるようにしている。	
教 出	○ 「つかむ・考える→書く・たしかめる→ふり返る→生かす・広げる」	○ 「ためし書きと教科書の文字をくらべて、気をつけることを見つけよう。」→「めあてに気をつけているか、たしかめながら練習しよう。」→「めあてに気をつけて書けたか、友達と伝え合おう。」→「学習した書き方を、他の文字にも生かそう。」の流れで、自分の書いた文字と教材を比較・検討し、気付いたことを生かして書く構成にしている。 ○ Web 上で動画視聴ができる二次元コードを記載しており、書く際のポイントや気を付けることを確かめて書くことができるようにしている。	
光 村	○ 「考えよう→たしかめよう→生かそう」	○ 「考えよう」と「たしかめよう」では課題解決的な学習になっており、話し合うことで大事にすべきことを考えたり、「たいせつ」（整った文字の書き方）を手掛かりに、大事なことを確かめ、書いたりする学習展開にしている。 ○ Web 上で動画視聴ができる二次元コードを記載しており、書く際のポイントや気を付けることを確かめて書くことができるようにしている。	

## 【書写】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	④単元等の配列、分量
<b>方法</b>	各学年の総ページ数、毛筆教材数、硬筆単元数、硬筆記入欄のページ数、二次元コード数

	学年	総ページ数	毛筆教材数	硬筆単元数	硬筆記入欄の ページ数	二次元コード数
東 書	1	49	0	26	21	21
	2	45	0	20	18	20
	3	57	10	6	13	27
	4	53	9	5	13	24
	5	53	8	4	14	23
	6	53	8	4	12	21
教 出	1	49	0	25	11	21
	2	41	0	18	3	11
	3	61	9	9	10	19
	4	61	9	9	11	18
	5	53	9	6	8	18
	6	53	7	6	6	20
光 村	1	49	0	22	24	30
	2	41	0	20	15	25
	3	65	9	4	12	37
	4	53	8	3	7	34
	5	49	7	6	9	34
	6	57	7	4	7	31

【書写】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑤伝統と文化に関する内容の記述
<b>方法</b>	書写の歴史や文字文化に関する資料等の内容とページ数、伝統的な言語文化に関する内容とページ数

	書写の歴史や文字文化に関する資料等の内容 (ページ数)	伝統的な言語文化に関する内容 (ページ数)
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年 かきぞめを しよう (2)、かん字の はなし (1)</li> <li>○ 第2学年 書きぞめを しよう (2)、かん字の 話 (1)、 知って いるかな いろは歌 (1)、えんぴつの作 り方 (巻末)</li> <li>○ 第3学年 どうやって作るの 筆・和紙・すずり・すみ (1)、 書きぞめをしよう (3・巻末)、筆づくりにこめた 思い (巻末)</li> <li>○ 第4学年 手書き文字と活字 (1)、年賀状を書こう (小筆) (1)、書きぞめをしよう (3・巻末)、文字にこめ た思い (巻末)</li> <li>○ 第5学年 書きぞめをしよう (3・巻末)、世界の文字いろい ろ (2)、文字にこめた思い (巻末)</li> <li>○ 第6学年 手書き文字のいろいろな書き方 (1)、書き初めを しよう (3・巻末)、日本の文字の歴史 (2)、文字 にこめた思い (巻末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年 いろは歌 (1)、昔話 (1)</li> <li>○ 第3学年 俳句 (1)</li> <li>○ 第4学年 短歌 (1)</li> <li>○ 第5学年 古文 (2)、俳句 (1)</li> <li>○ 第6学年 漢詩 (1)、漢文 (1)</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年 かきぞめ (2)、なんの かたちから できた か ん字かな (1)</li> <li>○ 第2学年 年がじょうと 書きぞめ (3)、何の 形から でき た かん字かな (1)</li> <li>○ 第3学年 筆について知ろう (1)、暑中みまい (1)、「手書 き文字」と「活字」(1)、書きぞめ (2・巻末)、 漢字のなり立ち (巻末)</li> <li>○ 第4学年 どんなときに手書きでかく? (巻頭)、書きぞめ(2・ 巻末)、漢字のなり立ち (巻末)、筆記具の特ちょう (巻末)</li> <li>○ 第5学年 書いて伝えよう (巻頭)、「活字」について知ろう (1)、平仮名のもとになる漢字 (1)、年賀状 (2)、 絵はがきを書こう (4)、書きぞめ (1・巻末)、漢 字の成り立ち (巻末)、世界の「こんにちは」(巻末)</li> <li>○ 第6学年 知りたいな世界の「書く」伝えたいな日本の「書く」 (巻頭)、文字の旅 (2)、私たちと文字 (1)、書 きぞめ (1・巻末)、行書 (1)、漢字の成り立ち (巻 末)、紙・すずり・すみの作り方 (巻末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2学年 昔話 (1)</li> <li>○ 第3学年 俳句 (1)</li> <li>○ 第4学年 短歌 (1)、かるた (1)</li> <li>○ 第5学年 古文 (1)</li> <li>○ 第6学年 古文 (2)、俳句 (4)</li> </ul>
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年 かん字 しらべたい (1)、かきぞめ (2)</li> <li>○ 第2学年 書きぞめ (2)、えんぴつの ひみつ (1)</li> <li>○ 第3学年 毛筆のひみつ (2)、書きぞめ (4・巻末)、全国筆・ 紙・すみ・すずりマップ (2)</li> <li>○ 第4学年 書きぞめ (4・巻末)、身近な文字をさがそう (巻 末)</li> <li>○ 第5学年 手書きの力 (1)、手書き文字と活字 (1)、書きぞ め (4・巻末)、身近な文字をさがそう (巻末)</li> <li>○ 第6学年 筆記具図かん (1)、文字の歴史 (3)、書きぞめ (4・巻末)、行書 (巻末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3学年 ことわざ (3)</li> <li>○ 第4学年 俳句 (1)</li> <li>○ 第5学年 古文 (3)</li> <li>○ 第6学年 俳句 (2)</li> </ul>

【書写】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑥配色、レイアウト等表現・表記の工夫
方法	筆順の示し方、紙面構成等

	第2学年「筆順」	第5学年「組み立て「道」」
	筆順の示し方	紙面構成等
東 書	<p>「ひつじゅんの きまり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筆順のきまりをオレンジ色の矢印で示している。(上から、左から)</li> <li>○ 筆順のきまりに当たる部分の色をピンク色で示している。</li> <li>○ 筆順を赤数字で示している。</li> <li>○ 筆順のきまりを漢字2字で例示している。</li> <li>○ 下部分に上段で取り上げた漢字の書き込み欄を設け、実際に書くことができるようにしている。</li> <li>○ 同じ原則で書く漢字を複数例示している。</li> </ul>	<p>「組み立て方(によう)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きの左ページに教材文字を、右ページ上段に考える観点と説明を示している。</li> <li>○ 右ページは、上段に図版を示し、下段は学習事項のポイント「書写のかぎ」と、他の文字で活用できる硬筆記入欄、振り返りの欄で構成されている。</li> <li>○ 教材文字のページの右上に学習事項のポイント及び穂先の動きが分かる図を示している。</li> <li>○ 「しんによう」の他に、「そうによう」と「えんによう」、「によう」の部首ではないが「題」を例示している。</li> </ul>
教 出	<p>「書きじゅん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「「よこ画から」・「長い たて画から」を色の違う太矢印で示している。</li> <li>○ 「つらぬく たて画は あと」「外がわから 内がわ」「にて いる ところ」のきまりに当たる部分を赤で示している。</li> <li>○ 「つらぬく たて画は あと」「外がわから 内がわ」以外は、筆順のきまりに当たる部分の筆順を、黒数字で示している。また、上段で取り上げた漢字の一部の筆順を黒数字で示している。</li> <li>○ 同じ原則で書く漢字や、カタカナと同じ原則で書く漢字を例示している。</li> </ul>	<p>「文字の組み立て方(中と外)と、穂先の動き」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きの右ページに教材文字を、左ページ上段に考える観点と説明を示している。</li> <li>○ 左ページは、上段に図版、文字を書くときに気を付ける観点、下段には学習の始めと終わりに教材文字を書く硬筆記入欄、活用するための文字、振り返りの欄で構成されている。</li> <li>○ 左ページの図版において、学習事項のポイント及び穂先の動きを示している。</li> </ul>
光 村	<p>「書きじゅん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筆順のきまりを緑色の矢印で示している。(上から、左から)</li> <li>○ 筆順のきまりに当たる部分の色を濃く示している。</li> <li>○ 2段目については、きまりの部分とそれ以外の部分を異なる色で示している。</li> <li>○ 上段：筆順(数字)ごとに異なる色で示している。 下段：筆順を赤数字で示している。</li> <li>○ 筆順のきまりを漢字2字で例示している。</li> <li>○ 下部分に上段で取り上げた漢字の書き込み欄を設け、実際に書くことができるようにしている。</li> <li>○ 同じ原則で書く漢字を1つ例示している。</li> </ul>	<p>「部分の組み立て方①(によう)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きの左ページに教材文字を、右ページ下段に考える観点と説明を示している。</li> <li>○ 右ページは、上段に図版を示し、下段は学習のねらい、振り返りの欄、学習の進め方、他の文字で活用できる硬筆記入(なぞり)欄、学習事項のポイント「たいせつ」で構成されている。</li> <li>○ 教材文字のページの右上に学習事項のポイント及び穂先の動きが分かる図を示している。</li> <li>○ 「しんによう」の他に、「えんによう」と「そうによう」を例示している。</li> </ul>

【書写】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑦学習や日常生活に生かす言語活動の工夫
<b>方法</b>	各教科等の学習や日常生活に生かす単元名及び教材名等の例、各学年の教材数

	単元名 (○) 及び教材名等 (・) の例	各学年の教材数
	第6学年	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字といっしょに 手書き文字のいろいろな書き方</li> <li>○ 生活に広げよう インタビューのメモを取ろう</li> <li>○ 生活に広げよう 発表のためのポスターを書こう</li> <li>○ 文字といっしょに 書いて味わおう 漢詩「春暁」</li> <li>○ 文字といっしょに 書き初めをしよう 「希望」「夢を語ろう」</li> <li>○ 配列(小筆) 立松 和平「海のいのち」</li> <li>○ 書いて味わおう 漢文「論語」</li> <li>○ 学びを生かそう 六年生のまとめ「新たな世界」</li> <li>○ 学びを生かそう 書写展覧会を開こう</li> <li>○ 文字といっしょに 日本の文字の歴史</li> <li>○ 文字といっしょに 文字に込めた思い</li> </ul>	第1学年 (7) 第2学年 (8) 第3学年 (9) 第4学年 (9) 第5学年 (10) 第6学年 (11)
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レッツ・トライ 話し合いメモ</li> <li>・ レッツ・トライ 国語のノート</li> <li>・ レッツ・トライ 校外学習のリーフレット</li> <li>・ 知りたい 文字の世界 文字の旅</li> <li>・ 知りたい 文字の世界 私たちと文字</li> <li>・ レッツ・トライ 「枕草子」を書く</li> <li>・ レッツ・トライ 小筆を生かして書く</li> <li>・ 知っておこう お願いの手紙</li> <li>・ 書いて 伝え合おう 思い出に残る言葉を書こう</li> <li>・ 書きぞめ 「理想」「夢の実現」</li> </ul>	第1学年 (7) 第2学年 (5) 第3学年 (9) 第4学年 (10) 第5学年 (8) 第6学年 (10)
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝えるって、どういうこと？</li> <li>・ ことば 学習したことを生かして書こう。</li> <li>・ もっと知りたい みんなが使いやすい筆記具図かん</li> <li>・ もっと知りたい 文字の歴史</li> <li>・ 書写 広げたい 〈国語〉パンフレットの書き方</li> <li>・ 書きぞめ</li> <li>・ 通信文を見てみよう</li> <li>・ 今の思いを書き残そう</li> <li>・ 書写ブック</li> </ul>	第1学年 (6) 第2学年 (6) 第3学年 (7) 第4学年 (7) 第5学年 (9) 第6学年 (9)